

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2015/08/06

第 20 号

シニアクラブ幹事会・幹の会役員会の合同会議を開催

7月28日（火）基幹労連会議室において、シニアクラブ幹事会・幹の会役員会の合同会議を開催しました。この会合では、それぞれの次回総会の議題、開催場所や運営などについて検討しました。

また、基幹労連が展開する政策実現活動について、操谷副委員長、風澤事務局次長から説明を受け、とりわけ来年の参議院議員選挙に全国のOB会組織がどのように取り組むかについて意見交換を行いました。基幹労連としては、とどろき利治参議院議員選挙候補予定者とともに全国で活動展開中であり、各地でOB会組織、メンバーとも連携をとってすすめているとのことでした。



シニアクラブ第4回総会は11月24日（火）豊橋で開催予定

シニアクラブ幹事会では、次回第4回総会の開催について審議し、その結果、基幹労連の県本部事務局長会議と連携して開催することを確認し、開催日は11月24日（火）から25日（水）、開催場所は「ホテルシーパレスリゾート（豊橋）」で準備に入ることとしました。

全国で退職者の会総会が開催されています

7月13日（月）群馬県本部の退職者の会総会が大同渋川工場内で開催され、宮園会長が出席して連帯のご挨拶を行いました。それ以外では三重県本部（5月30日）、京都府本部（6月21日）、秋田県本部（7月16日）、佐賀県本部（8月3日）、愛知県本部（8月4日）、の総会開催が報告されています。シニアクラブ中央本部としても、可能な限り各県本部の組織と連携を強化していきたいと考えていますので、主要な会合の開催に当たっては、是非、事前にご連絡をお願いします。



シニアクラブ関東ブロック懇談会を開催(7/30)

7月30日(木)午後、基幹労連中央本部会議室において、シニアクラブ関東ブロック懇談会を開催しました。6月の東北ブロックに引き続いてのブロック2か所目の開催です。

この会合には東京、千葉、神奈川、茨城、埼玉、群馬、栃木の各県から退職者の会代表者がそれぞれ1~2名参加され、中央役員からは宮園会長、西澤副会長はじめ、関係役員が出席しました。会合では、中央と各都県におけるこの間の活動報告を行うとともに、今後の活動をどのように充実させていくのか、とりわけ来年の参議院議員選挙にシニアクラブとしてどのような取り組みが展開できるのかについて率直に意見交換しました。



各地方ブロックでも懇談会の開催を計画しています

7月28日に開催したシニアクラブ幹事会では、各県本部OB会との連携、政策実現行動の今後の展開に関する意見交換などをテーマとして、東北、関東ブロック以外についても、順次ブロック会議を開催すべく準備をすすめていくことを確認しています。

今後の予定としては、北陸(富山)8月26日(水)、北海道8月29日(土)、中国(広島)9月9日(水)、東海(愛知)、近畿(兵庫)、四国(愛媛)、九州(福岡)の7つ(カッコ内は担当県本部)です。各県本部退職者の会役員および各県本部事務局長の皆様、よろしくご協力ください。

北海道の退職者組織の拡充に向けて検討進む

北海道の退職者組織は、これまで函館ドックの組織OB会をもって道としての退職者組織の登録を行っていましたが、組織の拡充に向けて検討が進められているとの報告がありました。8月29日(土)には新組織の立上げが予定されています。

日本退職者連合の定期総会が開催されました

退職者連合は、7月15日（水）午前9時半から、東京千代田区の連合会館で第19回定期総会を開催しました。総会では、2015年度運動方針、予算、政策・制度要求、規約・規則の改正、顧問の委嘱などを決めると共に、阿部保吉会長、菅井義夫事務局長をはじめとする役員を選出しました。この日の総会で正式名称を「日本退職者連合」に改めた退職者連合は、「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう」とのスローガンと、「真の平和日本を守るため、勤労国民の暮らしの安寧のため力強く闘い進む」とした総会宣言の下、2015年度の新しい運動に向かって船出しました。



総会宣言(抜粋)

安倍政権の傍若無人な政治姿勢はますますその度合を増している。「戦後70年談話の内容」を巡って韓国や中国をいたずらに刺激し、両国との関係改善を難しくしている。沖縄では、昨年末の総選挙を含む各種選挙で、米軍基地の辺野古移設に反対する県民の意思が示されたにもかかわらず、新基地建設のための海底調査を強行する傍ら、沖縄振興予算を大幅に減額し、当初は翁長知事の面談要請さえ拒否するなど、常軌を逸した行動に出ている。

さらに、専門家から憲法違反と指摘された自衛隊の海外での武力行使に道を開く、集団的自衛権行使のための法案成立を強行しようとしている。

また安倍政権は、東日本大震災や福島第1原発事故からの復旧・復興への進捗がいまだ不十分な中で、庶民にかかる震災復興特別所得税や住民税の上乗せはそのままに、法人実効税率を本年4月から2.51%引き下げ、その一方で、消費税は2017年4月から10%に引き上げる。まさに「企業は減税、庶民は増税」である。

身近に目を転じれば、「労働者派遣法の改悪」を強行し、「残業代ゼロ」や「解雇の金銭解決」に向けた労働基準法の改悪を推し進めるなど、「企業が世界で最も活動しやすい国」にするために、勤労国民に犠牲を強いながら、経済最優先の国づくりにまい進している。

退職者連合は、本日の総会で社会保障制度改革・改善に向けた政策・制度要求運動の一層の前進、300万組織を目指した組織の強化・拡大、社会的共感を得られる運動への取り組み、安倍政権打倒をも視野に入れた政治の流れを変える闘いなどを柱とする運動方針を決定した。そして正式名称を「日本退職者連合」に改めた。真の平和日本を守るために、勤労国民の暮らしの安寧のために、誰もが安心して老年期を迎えることができる国づくりのために、日本退職者連合は第19回定期総会を機に、さらに力強く闘い進むことを宣言する。

2015年7月15日

日本退職者連合第19回定期総会

連合と一緒に国会内外で行動を展開していきます

8月4日（火）、「労働者保護ルール改悪阻止を求める8.4院内集会」が、参議院議員会館で開催され、基幹労連メンバーとともにシニアクラブからも集会に参加しました。主催者挨拶に立った神津連合事務局長は「働く者の思いをないがしろにする労働法制改悪に対峙していきたい」と力強く述べていました。

今後の予定として連合は、8月23日（日）に「国民の声、怒りの大集会」として、国会を大包围する1万人規模の「人間の鎖」行動を展開することを決定しました。

基幹労連シニアクラブとしても、退職者連合の構成メンバーとして、安保法制、労働法制改悪に突っ走る安倍政権の暴走を阻止するために、国会内で奮闘する民主党と連携して国会内外で連合とともに行動します。



ILEC「幸せさがし文化展」にシニアクラブ会員が入選

この「幸せさがし文化展」は、連合の外郭団体である教育文化協会(ILEC)が主催し、働く仲間とその家族をはじめ、広く一般からの応募も受け、生活の様子や家族、夢や希望を作品に託し、誰もが参加でき、写真、絵画、書道、俳句、川柳の5部門で開催しています。

今回、この「写真の部」で、基幹労連川崎重工坂出OB会から応募された三ツ石不二夫さんの「佳き日」が秀作賞を受賞されました。

